

師走の八幡 駆け抜けた

2022市民マラソン大会

八幡の師走の風物詩「2022八幡市民マラソン大会」が12月4日、市民スポーツ公園を発着点に開催され、市内外から参加した1223人のランナーが八幡のまちを駆け抜けました。

同大会は、スポーツ協会や市などで構成される大会実行委員会が毎年主催。ハーフ、10km、3km、2kmのコースが設けられ、性別や年齢ごとの15部門で実施されました。スタートラインに立ったラ

ンナーは、号砲が鳴り響くと同時に勢いよくスタート。白い息を弾ませ、沿道からの声援に手を振るなどしながら、木津川左岸堤防沿いや上津屋工業団地などを通るコースを快走しました。

また、親子ペア部門では小学2年生以下の子どもと保護者が、2kmのコースに挑戦。親子で声をかけあいながら一生懸命に走り抜き、最後は手をつないで笑顔でゴールしていました。



写真上＝一斉にスタートを切るランナー
同左＝木津川左岸堤防沿いを駆けるランナー
同下＝手をつないでゴールする親子



茶道体験 おもてなしの心学ぶ

子どもわくわく体験教室の茶道体験に参加する市内の小学生14人が、12月10日、文化センターで堀口市長などを招いてお茶会を開きました。

同行事は、子どもたちが舞台発表や作品展示を行う「子ども文化祭」の一環として、お点前を通じて子どもたちにおもてなしの心を知ってもらおうと、文化協会が毎年開催。

小学生 市長など招きお茶会

子どもたちは、好きな花や動物などを絵付けして作った色とりどりの茶碗を使い、昨年5月から練習してきたお点前を披露。先生に手順を教わりながら、茶碗に抹茶とお湯を入れ、茶せんを使ってきめ細かな泡が立ったお茶を点てていました。

できたてのお茶は、お盆に載せてお客様の前へ。お点前を褒められると「ありがとうございます」とうれしそうにお礼を述べていました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

元気いっぱいおもちつき

橋本幼稚園児27人大はしやぎ

12月7日、橋本幼稚園で「おもちつきが行われ、3〜5歳児27人がつきたてのおもちを味わいました。

同行事は、お正月の準備が行われる年末に向け、子どもたちに日本の伝統行事を体験してもらおうと、毎年実施されています。

園児は、先生に教わりながら、1人ずつ順番につき手に挑戦。大きな杵を力いっぱい振りおろし、ペタン、ペタンと音が鳴ると、周りで見守る園児も「よいしょ、よいしょ」と笑顔で話していました。

瀬川隼叶くん(6)は、「おもちを7個食べた。楽しくておいしかった」と笑顔で話していました。



力いっぱいにおもちをつく園児

今月のこの人 障がい者支援 緑綬褒章受章

朗読ボランティアサークル よむよむ



昭和60年発足。八幡市民図書館を拠点に朗読ボランティアの活動をしており、令和4年12月現在の会員数は27人。

朗読を通して視覚障がい者の読書や情報収集の機会を支援する朗読ボランティアサークル「よむよむ」。長年にわたる活動の功績が認められ、内閣府の令和4年秋の褒章で、緑綬褒章を受章されました。

上原多美子代表は「目が見えにくい人の手助けをしたい仲間が協力し、依頼者の心情

との共感を大切にしながら続けてきました」と活動を振り返ります。

書籍や広報紙など、朗読した声をCDに吹き込み依頼者に届けるほか、一緒に歌うなどの交流活動も続けてきました。CDを再生する専用の機器が高額なことや、視覚障がい者にとって操作が難しいな

どの課題もあると口にします。今後について上原代表は「朗読は生活の一部になっていて、家族の協力で続けることができおり、依頼者の感謝の言葉や交流が励みになっている。場面の状況が伝わるよう朗読し、依頼者とともに楽しみたい」と話していました。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体を紹介しています。詳しくは、市ホームページまたは秘書広報課へ。